

「第1回 日が沈む聖地出雲フォトコンテスト」の入賞作品について

出雲市日本遺産推進協議会では、第1回目となる写真コンテストを開催し、秋～冬期を対象に「日が沈む聖地出雲」をイメージさせる夕景写真を募集しました。

このほど審査会を行い、入賞作品が決まりましたのでお知らせします。

作品は今後、日本遺産関連事業に活用していく予定です。

記

- | | | |
|----------|---|--|
| 1. 入賞作品 | 最優秀賞「日が沈む聖地出雲を走れ」 | たま ^い けん ^じ 玉井 謙治 (出雲市灘分町) |
| | 優 秀 賞「夕映え」 | は ^ら ふ ^み あ ^き 原 史明 (出雲市平田町) |
| | 「神のささやき」 | さ ^と うま ^さ み 佐藤 正美 (出雲市斐川町) |
| | 「カップル」 | かね ^つ き 金 築 哲 (出雲市国富町) |
| | 入 選 10点 | |
| 2. 応募総数 | 177点 (72名) | |
| 3. 撮影対象 | 「日が沈む聖地出雲」をイメージさせる夕景 | |
| 4. 撮影期間 | 10月～2月 | |
| 5. 審 査 会 | 平成30年3月15日 (金) | |
| | 審査委員3名 | |
| | 審査委員長 川本貢 ^{つぐのり} 功 (島根写真作家協会理事長) | |
| 6. 主 催 | 出雲市日本遺産推進協議会 | |

【担 当】出雲市日本遺産推進協議会

(事務局：出雲市文化財課) 梶谷・伊藤

〒693-0011 出雲市大津町 2760 番地

(TEL) 0853-21-6893 (FAX) 0853-21-6617

最優秀賞「日が沈む聖地出雲を走れ」

たまひ けんじ
玉井 謙治（出雲市灘分町）

電車と雲とが相乗効果をあげ、空には、出雲らしい印象的な雲を見せています。
広角レンズを上手に使いこなしており、遠近感にも雲が一役買っていて、圧巻的な表現になっています。シャッターチャンスの良い作品です。

この作品は審査委員全員で推挙され、非常に神秘的で印象的であるということが評価されました。

優 秀 賞「夕映え」

はら ふみあき
原 史明（出雲市平田町）

逆光のうえ、さらに飛行機に反射している光が素晴らしいと思います。

地上の風景と空の風景が二分されていますが、風景写真の原点と言われる「地上3対空間7」の割合を的確な角度で撮れているのがよいと思います。中心の太陽と雲との調和がとれた優れた作品です。

飛行機の爆音が聞こえてくるようで、いかにも最終便といった映画のシーンを思い起こすようです。

優 秀 賞「神のささやき」

さとう まさみ
佐藤 正美（出雲市斐川町）

画面全体から見る風景は、神秘的な風景とでも表現できるもので、下方の砂浜が砂丘のような形であり、芸術作品的な見せ方がよいと思います。

稲佐の浜は、神話の舞台となった場所でもあり、夕日の光が淡い色となっているのもよいと思います。左側に立っている人が小さく撮れているのも画面の効果を高めています。

印象的な作品となりました。

優 秀 賞「カップル」

かねつぎ さとし
金築 哲（出雲市国富町）

広い海を背景として夕日が二人の中間に入るように自撮りしたところを撮影したもので、二人の表情の描写がすぐれています。

スマートフォンを高くかかげ傾斜させて記念撮影をする二人をとらえており、目線と笑顔の表情が一層よく撮れています。

暮色の撮影は、瞬間的にシャッターチャンスを生かして撮りますが、カメラアングルもよく、また、色彩表現もよい作品となりました。

「第1回 日が沈む聖地出雲フォトコンテスト」

入賞作品一覧

最優秀賞「日が沈む聖地出雲を走れ」

玉井 謙治（出雲市灘分町）



優秀賞「夕映え」

原 史明（出雲市平田町）



優秀賞「神のささやき」

佐藤 正美（出雲市斐川町）



優秀賞「カップル」

金築 哲（出雲市国富町）



＝入選＝

- | | |
|----------|----------------|
| 「神話を語る」 | 金森 克（出雲市坂浦町） |
| 「神の気配」 | 岡村 健司（出雲市稲岡町） |
| 「大社港」 | 藤原 和彦（雲南市木次町） |
| 「神迎いの夕刻」 | 園山 靖子（出雲市湖陵町） |
| 「神々の予感」 | 田中 頼昭（益田市西平原町） |
| 「聖地落日」 | 渡辺 正史（松江市浜乃木） |
| 「降臨」 | 宮崎 文恵（松江市西持田町） |
| 「夕まづめ」 | 西尾 透（出雲市上岡田町） |
| 「情景」 | 中山 一郎（出雲市大社町） |
| 「落日」 | 山本 俊夫（出雲市塩冶町） |